

其他中河内郡の方にも、また他団体と共に支那保護準備会が組織され、又市町村に於ても各々其の準備をせしめてある。

争議の状況

資本主義の没落期に於ける現在の争議は殆んどその全部が資本家側の攻撃による。即ち労働者側の争議の立場に起る争議である。

従って現在の争議が非常な奮戦奮闘を必要とする事は、過去に於ける共同印刷並に日本米畠の争議等其の他大段に於ける東洋紡織の新工場並に資本家団体製材協会の組織的攻撃による起る日本材木労働組合等の争議による。以て知らずにはなす。

創立より今年九月までの争議の経過は、左の通りであるが特に東洋紡織の新工場争議には多数の(三十名)收監者もあつた。

争議件数 八十三件
参加人数 三十二十四人
延日数 二万七千三百八日

勝利 六十八件

妥協 九件

敗北 六件

教育運動

地方評議会が創立されたこと直に教育方針書を作成して各地方教育運動の統一を計つた。

其他支那 及帝國主義の斗争議、無産政党問題、労働立法問題等種々の問題に就いて、研究会討論会等を用いた。